

使用指導のポイント

前頁の質問から使用可能な方には、次のことを必ず守ってナゾネックス点鼻薬(季節性アレルギー等用)を使用するようご指導ください。

■成分・分量：100g 中

モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物 52mg
(モメタゾンフランカルボン酸エステルとして50mg)

■効能・効果：「花粉による季節性アレルギーの次のような症状の緩和：鼻づまり、鼻みず(鼻汁過多)、くしゃみ」

■用法・用量：成人(15歳以上) 1日1回、左右の鼻腔内にそれぞれ2噴霧します。 ★15歳未満は使用しないでください。

- ・1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください。(3ヵ月を超えた使用が必要な場合は、通年性アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、副鼻腔炎など他の疾患の可能性があり、鼻腔内所見を観察できる耳鼻咽喉科専門医の診察が望まれます。なお、医療用医薬品ナゾネックス点鼻液の使用上の注意には、長期間、大量投与の場合は、全身状態や鼻中隔潰瘍等の鼻所見の定期的な観察が必要との記載があることから、本剤の使用期間を厳守する必要があります。)
- ・異なる花粉に起因する症状であっても1年間に合計3ヵ月を超えて使用できません。

■使用時期について

1日のうち、いつ使用しても構いませんが、使い忘れを防ぐため毎日決まった時間に使用するようご説明ください。

■使用し忘れたときの対応について

気がついたときに、できるだけ早く使用するようご説明ください。ただし、次に使用する時間が近い場合は1回分をとばして、次の使用する時間に1回分を使用し、決して2回分を一度に使用したり、1日に2回使用しないようご指導ください。

■多く使用(過量使用)したときの対応について

異常を感じたら、添付文書を持って医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。

次の場合は、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。

| 関係部位 | 症状 |
|-------|--|
| 鼻 | 刺激感、かゆみ、乾燥感、疼痛、発赤、不快感、鼻出血、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、嗅覚異常、鼻の中のかさぶた、灼熱感 |
| のど | 刺激感、疼痛、不快感、乾燥、はれ |
| 皮膚 | 発疹 |
| 精神神経系 | 頭痛、倦怠感 |
| 呼吸器 | せき |
| 目 | 眼圧上昇(眼痛、見えにくい、頭痛などの症状を伴う)、かすみ、視力低下、物が歪んで見える |
| その他 | 味覚異常 |

鼻出血は鼻を強くかんだ場合などにも起こりますが、たびたび鼻出血が起きたり、鼻の中にかさぶたができた場合には、鼻中隔穿孔に進行する可能性もありますので、直ちに使用を中止し、医師の診療を受けてください。

※鼻中隔穿孔：鼻の中にある鼻腔を左右に仕切る隔壁に穴が開く状態

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けるようご指導ください。

| 症状の名称 | 症状 |
|----------------|---|
| ショック(アナフィラキシー) | 使用后すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |

他の疾患の併発

使用后、頭・顔・頬などの痛み、黄色や緑色の鼻汁などがあらわれた場合は直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。他の疾患が併発していることがあります。

症状の改善がみられない場合

1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師に相談するようご指導ください。

季節性アレルギー専用点鼻薬

要指導医薬品

ナゾネックス® 点鼻薬

< 季節性アレルギー専用 >

適正使用のチェックシート

このチェックシートは、お客様が本剤の使用が適正か確認するためのものです。本剤を購入する前に以下のチェック項目をご確認ください。

●本剤はモメタゾンフランカルボン酸エステル水和物(ステロイド)を有効成分とする鼻炎用点鼻薬です。花粉による季節性アレルギーの鼻づまり、鼻みず、くしゃみの鼻症状を緩和します。

次の質問に「はい」「いいえ」でお答えください。(該当するチェック欄に☑を記入してください)

- Q1：花粉による季節性アレルギー性鼻炎ですか？ はい いいえ
季節性アレルギー以外の鼻症状には使用できません。
- Q2：15歳以上ですか？ はい いいえ

☒
本剤を使用できません。
医師又は薬剤師に
ご相談ください。

全て「はい」である

- Q3：本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがありますか？ はい いいえ
- Q4：妊婦又は妊娠している可能性はありますか？ はい いいえ
- Q5：次の症状はありますか？
鼻腔内に化膿(膿(うみ)がたまり、痛みやはれを伴う)、
潰瘍、外傷がある。完治していない鼻の手術部位がある。 はい いいえ
- Q6：次の診断を受けましたか？
 全身の真菌症 結核性疾患 感染症
 眼の単純ヘルペス 反復性鼻出血 はい いいえ
※現在これらの治療が終了していれば「いいえ」を選択してください。
- Q7：ステロイド点鼻薬を過去1年間のうち、3ヵ月以上使用したことがありますか？ はい いいえ

☒
本剤を使用
できません。
医師又は薬剤師に
ご相談ください。

全て「いいえ」である

- Q8：医師の治療を受けていますか？ はい いいえ
- Q9：授乳中ですか？ はい いいえ
- Q10：高齢者ですか？ はい いいえ
- Q11：薬などによりアレルギー症状を起こしたことがありますか？ はい いいえ
- Q12：次の症状はありますか？
 頭・顔・頬などの痛み、黄色や緑色などの鼻汁がでる。
 鼻のまわりが重苦しい、少量の粘液性又は黄色や緑色の鼻汁がでる。
 鼻づまり、鼻声、鼻の奥の異物感など。 はい いいえ
- Q13：減感作療法等のアレルギー治療を受けていますか？ はい いいえ
- Q14：長期又は大量の全身性ステロイド療法を受けていますか？ はい いいえ
- Q15：季節性アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしていないですか？ はい いいえ

☒
本剤を使用できない
場合があるため、
医師又は薬剤師に
ご相談ください。

全て「いいえ」である

相談した結果
ご使用できます

薬剤師から説明を受け、添付文書及び情報提供資料をよく読んで上で本剤をご使用ください。

本剤を使用する場合は定められた用法・用量及び次のことを厳守してください。

- ・本剤は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください(3ヵ月を超えた使用が必要な場合には、他の疾患の可能性があるので耳鼻咽喉科専門医にご相談ください)
- ・本剤と他のステロイド点鼻薬を併用しないでください。ただし、医師から処方された場合は、その指示に従ってください

使用上の注意と解説事項

「ナゾネックス点鼻薬<季節性アレルギー専用>」を使用いただく際の使用上の注意と解説事項です。
お客様には説明文書をよく読み、それを厳守した上で製品を使用いただくようご指導ください。

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こる可能性があります。)

| 使用上の注意 | 解説事項 |
|--|---|
| 1 次の人は使用しないでください | |
| (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 | 本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、同じ症状を発現するおそれがあります。 |
| (2) 15歳未満の小児。 | 本剤は、成人(15歳以上)を対象としています。 |
| (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 | 妊娠中の安全性は確立されていません。モメタゾンフランカルボン酸エステル ¹⁾ の経口投与による動物実験(ラット、ウサギ)で催奇形性作用が報告されています。 |
| (4) 鼻腔内に化膿(膿(うみ)がたまり、痛みやはれを伴う)、潰瘍、外傷がある人。鼻の手術部位が完治していない人。 | 本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。 |
| (5) 次の診断を受けた人。 全身の真菌症 ¹⁾ 、結核性疾患 ¹⁾ 、感染症 ¹⁾ 、眼の単純ヘルペス ¹⁾ 、反復性鼻出血 ²⁾ | 1) 副腎皮質ステロイド剤は、一般的に強力な抗炎症作用、免疫抑制作用により生体の感染防御機能を低下させるため、本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。 2) 副腎皮質ステロイド剤は、線維芽細胞の増殖抑制、膠原線維の形成阻害及び肉芽形成の抑制作用により、創傷治癒を抑制するため、本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。 |
| (6) ステロイド点鼻薬を過去1年間のうち3ヵ月以上使用した人。 | 本剤は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用できません。3ヵ月を超えた使用が必要な場合は、通年性アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、副鼻腔炎など他の疾患の可能性があり、鼻腔内所見を観察できる耳鼻咽喉科専門医の診察が望まれます。 |
| 2 本剤は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください(3ヵ月を超えた使用が必要な場合には、他の疾患の可能性ありますので耳鼻咽喉科専門医にご相談ください) | 3ヵ月を超えた使用が必要な場合は、通年性アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、副鼻腔炎など他の疾患の可能性があります。 |
| 3 本剤と他のステロイド点鼻薬を併用しないでください。ただし、医師から処方された場合は、その指示に従ってください | 本剤と他のステロイド点鼻薬の併用により作用の増強を引き起こすおそれがあります。 |

相談すること

| 使用上の注意 | 解説事項 |
|----------------------------------|--|
| 1 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください | |
| (1) 医師の治療を受けている人。 | 本剤の成分が治療中の疾患に影響を及ぼしたり、医師から処方されている薬との重複投与や相互作用を引き起こすおそれがあります。 |
| (2) 授乳中の人。 | 経口投与による動物実験(ラット)で乳汁移行性が報告されています。なお、ヒトに点鼻投与した際のモメタゾンフランカルボン酸エステルによる全身曝露は極めて低いため、ラットで認められた乳汁への移行が臨床的に問題になる可能性は低いと考えられます。 |
| (3) 高齢者。 | 一般に高齢者では生理機能が低下しているため、作用の増強を引き起こすおそれがあります。 |

| 使用上の注意 | 解説事項 |
|---|---|
| (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 | 過去に薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、アレルギーを起こした薬や類似する薬の使用により同じ症状を発現するおそれがあります。 |
| (5) 次の症状のある人。 頭・額・頬などの痛み、黄色や緑色の鼻汁がでる(感染性副鼻腔炎)、鼻のまわりが重苦しい、少量の粘性又は黄色や緑色の鼻汁がでる(肥厚性鼻炎)、鼻づまり、鼻声、鼻の奥の異物感など(鼻たけ(鼻ポリープ)) | 感染性副鼻腔炎の症状のある人は、本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。 また、肥厚性鼻炎や鼻たけ(鼻ポリープ)のある人は、本剤が鼻腔内の患部に到達しにくい可能性や本剤が鼻粘膜から吸収されにくくなる可能性があります。 |
| (6) 減感作療法等のアレルギー治療を受けている人。 | 本剤や減感作療法、他の薬剤の効能に影響を及ぼすおそれがあります。 |
| (7) 長期又は大量の全身性ステロイド療法を受けている人。 | 本剤又は全身性ステロイド療法の作用の増強を引き起こすおそれがあります。 |
| (8) 季節性アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人。 | 鼻づまり、鼻みず及びくしゃみの症状は、季節性アレルギーの他に、通年性アレルギー、副鼻腔炎、感冒、薬剤等により発現する場合があります。本剤の使用により原疾患の発見や治療の開始が遅れる可能性があります。季節性アレルギー性鼻炎による症状か他の疾患による症状かはっきりしない場合は医師に相談するようご指導ください。 |

2 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性ありますので、直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

| 関係部位 | 症状 |
|-------|--|
| 鼻 | 刺激感、かゆみ、乾燥感、疼痛、発赤、不快感、鼻出血、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、嗅覚異常、鼻の中のかさぶた、灼熱感 |
| のど | 刺激感、疼痛、不快感、乾燥、はれ |
| 皮膚 | 発疹 |
| 精神神経系 | 頭痛、倦怠感 |
| 呼吸器 | せき |
| 目 | 眼圧上昇(眼痛、見えにくい、頭痛などの症状を伴う)、かすみ、視力低下、物が歪んで見える |
| その他 | 味覚異常 |

鼻出血は鼻を強くかんだ場合などにも起こりますが、たびたび鼻出血が起きたり、鼻の中にかさぶたができた場合には、鼻中隔穿孔に進行する可能性もありますので、直ちに使用を中止し、医師の診察を受けてください。
※鼻中隔穿孔：鼻の中にある鼻腔を左右に仕切る隔壁に穴が開く状態

医療用医薬品ナゾネックス点鼻液50μgの添付文書に副作用として報告されています。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

| 症状の名称 | 症状 |
|----------------|---|
| ショック(アナフィラキシー) | 使用后すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |

医療用医薬品ナゾネックス点鼻液50μgの添付文書に重篤な副作用として報告されています。

3 使用后、頭・額・頬などの痛み、黄色や緑色の鼻汁などがあらわれた場合は直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください(他の疾患が併発していることがあります)

感染性副鼻腔炎等の疾患が併発する可能性があるため、これらの症状があらわれた場合は直ちに使用を中止する必要があります。

4 1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や本剤では対応できない症状の可能性もあります。